九夕 日刊

磐城時報

福島縣石城郡平町紺屋町十四 編輯兼發行人 岡田弘成
印刷人 [illegible]
印刷所 福島縣石城郡平町[illegible]町十四 [illegible]
發行所 福島縣石城郡平町[illegible]町十五 磐城時報社
一部金貳錢 一ヶ月金[illegible]
廣告料一行[illegible]
▲日刊(日曜、祭日)休刊

日銀の平代理店は 平銀行に決定

九日契約書を交換し 十日から事務開始

石城地方に於ける日本銀行代理店は從來磐城銀行が取扱つてゐたが同行が休業中であるため日本銀行では代理店を委任する適當な銀行を物色調査中の處、平銀行が地方銀行として堅實で信用が厚いのを見て平銀行に代理店を依頼する計劃をたて過般來平銀行に對し交渉をすゝめてゐた處、平銀行では承諾したので今九日東北地方の日本銀行代理店を管理してゐる安田銀行から小武山安之助氏來平平銀行と契約書を取りかはし明十日から平銀行に於て日本銀行代理店の事務取扱ひを開始する事になつたが、平銀行が日本銀行の代理店を引受ける事に決定するや今日まで各方面で耳にした計劃的の流言蜚語は全く終熄するに至つた。

▲石炭試掘許可

石城郡內に於ける石城礦區中此程主務省より試掘を認可されたものは左の如くである。
▲磐崎村、渡邊村石炭九萬九千四十五坪三井鑛山株式會社▲植田町、泉村石炭九十四萬坪同會社▲上遠野村、渡邊村九十八萬二千五百坪同會社▲四倉町、久之濱町石炭七十四萬五千坪同會社▲高久村、豊間村、鹿島村石炭九十九萬八千六百坪同會社▲田人村、上遠野村石炭四十八萬八千六百四十坪東京市淺草區小島町武田茂三郎▲湯本町、磐崎村石炭五十二萬八千三百坪入山採炭株式會社

▲平稅務署酒造高

平稅務署管內本年度酒造高は二萬千二百五十五石で前年度に比し七十二石の減少であるに反し燒酎は年々需用を增して來た傾向あり輸入品も相當あるに拘らず本年は六百七十五石の釀造をなし昨年に比し二石の增加である

平銀行に對する 惡宣傳の出所

四倉郵便局を中心とする 或る一派の所爲と判明

最近平銀行並に四倉銀行等に對し計劃的な巧みな惡宣傳が盛んに行はれ當業者が非常に迷惑を蒙つてゐる事慶報の如く其筋では流言をなす者を內偵中であつたが、今回端なくも右流言の出所が大体判明したものゝ如くである。流言惡宣傳の出所として濃厚な嫌疑をかけられてゐるのは四倉郵便局を中心とした或る一派の者でこの一派は木村代議士に反感を持つてゐる人々であるが、四倉警察署では之に對する取締り甚だ緩漫なので一般の非難を高めつゝある。

▲平町日用品物價

平町における今月初旬の日用品物價は次の如くで何れも前月に比し大差なく
▲白米一升一等三十四錢、二等三十三錢、三等三十二錢▲平麥十七錢▲味噌〆八十錢▲醬油一升六十錢▲清酒一升並一圓▲木炭一貫匁楢札三十二錢、栖割二十五錢、雜二十七錢▲砂糖百匁十五錢、和白十三錢▲肉類百匁豚上五十錢、並二十錢、牛六十錢、並四十錢

湯本町の 計算同盟會

新築移轉

過般新省令に依る運送店合同の結果殘されたる各驛の私設運送業者はその後何等かの形において其の復舊策を講じつゝあつたが石城郡湯本町においても去月同地有志の發起によりデパートメントストアの一隅に日本計算同盟會につらなる丸正運送店を開店昨今貨物の出入と共に非常に有力なものとなりつゝあるが過般店員の協議により目下の場所にては非常に狹隘を感ずるため元三函運送店に移轉費數百圓を以て修築移轉することに決定したと。

▲動員事務檢閱

福島聯隊區簑田中佐は九日來平平署に於て動員事務の檢閱をなした

平驛の 遺失物

馬二頭もある

平驛における一月より六月までの驛管內における拾得物は三百十八点におよび金額實に千五百三十八圓五十五錢の多額に達し內譯現金八百三十一圓五十五錢遺失物昨年の二百五十三点千五百九十八圓四十四錢、內現金九百七十四圓に比較して更に大差なしと、尙ほ家畜類中馬二頭といふ樣な大ものもある。

第三校問題は 何の爲に揉めたか

醜狀今になつて判明

第三小學校の敷地選定に就いては最初立町側では南裏の候補地に對し、買收價格も高いし土盛り工事にも多額の費用を要する。且つガスタンクに近接して危險この上もないから學校地として最も不適當である」と盛んに難癖をつけこれに對し南裏派では「立町の候補地は第一屠殺場、遊廓に近接して少年、子女の教化上甚だ面白くないのみならず磐炭發電所の煤煙が飛散して兒童の保健衛生からも甚だ宜しくない、又近く開通を見るべき平小鐵道の豫定線にもなつてゐる」といふ理由の下に双方負けず劣らず相手方の缺点を數へ上げ盛んに自派の主張を貫徹せんとしたその意氣極めて壯とすべきものあつたが今日兩方の候補地に各小規模の學校を建て所謂總花的の計劃によつて設立の經費などには余り頓着なしに無事その決定を見たことは勿論同一町內紛爭をより少なからしめんとする町理事者及び町會議員諸氏にとつてまさに苦心の存する所でもあらうが双方ともその全部の希望を達成する事が出來ず而も觀て以て最も不適當なりとして論難大に努め合つたその候補地への學校建設を容認した一事は最初から双方とも可否のまじめな純理論に出たものでなくたゞ自分の町內近くに學校が出來さへすればよいといふ敷地の爭奪そのものを最終唯一の目的として强てつけた即ち多くの信念に立脚しない一の理屈であつたと見るより外なく最初から平全町の利害休戚に關する問題なりとして、眞面目に引きづられた吾々としては今更顧みて一種の淡い張り合ひぬけを感せずにはゐられない、併し最後まで一校不可分論を以て進んだ兩三名の議員の公正なる態度には多くの敬意を表する。

秋繭取引きの 開場繰上げ陳情

四倉繭市場に對して

春繭取引を終わた石城販賣利用組合四倉繭市場は來る八月三十一日から秋繭取引のため開場する旨豫告してあつたが、大浦、大野、草野方面の秋蠶は八月一日頃に掃立て八月二十五日頃から繭の出廻りを見る筈であるから市場の開場を四五日繰上げて八月二十五日頃から開場して貰ひ度いと大野村長吉田盛治、大浦村長渡邊金治、草野村養蠶同業組合長富岡三津太郎三氏は九日石城販賣利用組合長山崎與三郎氏に陳情する處があつたので組合では調査中である。

弓道競射

入賞者氏名

平弓道奬勵會主催弓術競射會は八日午前九時から平驛構內射場で擧行したが當日の參加者は遠く本宮、高萩、郡山等からもあり八十名に達し盛會を極めた、入賞者左の如し。
一等猪狩昇、二等高原房好、三等鈴木勝明、四等松本松、五等戸田源吉、六等大元行信、七等高原藤吾、八等菊地壽七、九等渡邊紫香、十等中根秀四郎

▲赤井郵便取扱所

石城郡赤井村大字赤井(上平局集配署區域內)に赤井郵便取扱所を開設し十一日より執務される

▲坂本氏退院

磐城新聞編輯長坂本茂長氏は骨膜炎を病み高久病院に入院中であつたが手術後の經過良好で去る七日退院した。

スズランの 撞球競技

入賞者

平町十五丁目スズラン撞球場の十勝會は七日午後六時から擧行したが、參會者四十余名入賞者左の如し。
▲本賞 一等伊達(四五点)二等北郷(四五点)三等岡田(一〇〇点)四等田村(三〇点)五等大森(二五点)六等綠川(一二〇点)七等小川(五〇点)八等篠崎(五〇点)九等佐藤(三〇点)十等(永山五〇点)
▲乙賞 一等床井(三五点)二等田村(七〇点)三等佐々木(八〇点)

預金の賣買に應じます
取扱ひは親切迅速
平町仲田町
株式店
電四六五番

オール平勝つ
對古河庭球戰

好間村古河炭礦對オール平の庭球試合は八日午後一時から好間村古河炭礦コートで擧行したが左の如くオール平の勝に歸した

古河　オール平
荒川、猪狩0—3高木、猪狩
大内、松本0—3同
石井、澁川0—3原田、樋口
松本、石川3—2同
同　0—3三井、三井
井上、佐藤0—3同
藁谷、佐藤3—1山野邊、小松
同　3—0鈴木、箱崎
安西、木田1—3堀、吉田
小森山、今野0—3同
藁谷、佐藤3—0吉田、鈴木
同　0—3根本、大坪

▲渡邊記者榮轉

福島新聞平支局渡邊文氏は今回郡山本社詰に榮轉し後任として森田氏十二日頃着任する。

▲白銀町素月生へ　御投書拜見しました、掲載を少し見合はさして戴きます。（係り）

小名濱町で音樂演奏會

石城郡小名濱町音樂同好者よりなる小名濱マンドリン協會はその後非常な發展を遂げ今春同地小學校において購入せるピアノの加入により一層範圍を擴げつつあつたが來る八月中旬例により演奏會を開催する事となつた

魚捕りついでに芋を盜む

南會津郡旭田村大字音金生れ當時湯本町字日渡入山炭礦坑夫星治作（十九）岩手縣西岩井郡眞瀧村大字狐禪寺生れ湯本町大字日渡入山炭礦坑夫木村進（三四）の兩名は八日夜夏井川に魚取りに來りその歸途神谷村大字鎌田字岸金成文藏所有畑から馬鈴薯五升位を窃取し之を背負つて午前三時頃平町を通行中平署巡査に捕はれた。

神社内に乞食の死体

赤井村字團粉田八坂神社社殿内に腐爛した男の死体があるのを發見八日平署市毛部長檢死したが死後數日を經たもので年齢四十五歳位乞食体の男で身元不詳死体を役場に引渡した。

痔の高級内服藥
「ダイサン錠」
平五　山野邊藥局

紺屋町で自動車に轢かる

平町紺屋町黒澤キヨ（十四）は八日午後八時頃平町紺屋町郵便局前道路で尼子自動車部小針俊秋（二二）の運轉する乘合自動車に轢かれ全治二週間の傷を負ふた

時報文藝

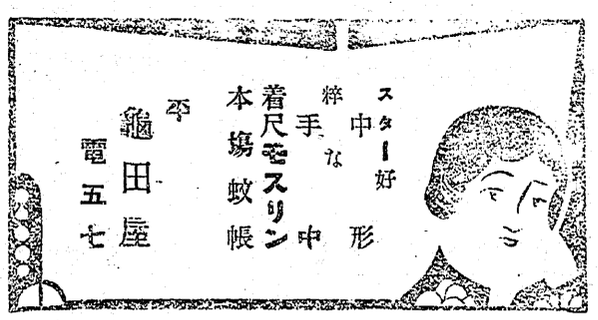
▼苗代を掻く　佐久間政秋

苗代かいた
俺の手は
どろ〳〵と
闇にはびこつてゐる
春はきらびやかな女性
そして少女の饒舌
おれの手は潜轉する
おゝむごくも
物質にこつた、俺の手は
いきなり深呼吸する彈丸である。

映畫界

▲江戸三國志（下）

金吾の身を案じる萬太郎は釘勘達と筑波屋を包圍したがお粂は急を感知し金吾を麻醉劑を以て無我の境に落し釘勘の目をくらまし暗に逃れる。釘勘達に追はれた伊兵衛は危險な立場から一先づ假面箱をうづらケ丘に隱匿せんと向つたが石神堂の羅に馬春堂は捕はる、伊兵衛は釘勘の御用に馬春堂を助け得ず逃れる。其後お粂と金吾は保養を兼ねて出湯の里熱海に潜んでゐたお粂の宿には高麗村の御隱家の娘月江が保養に來てゐた、或る夕月江達の散歩の途すがら無頼漢に追はれた所を釘勘と傳吉が救ける、釘勘は傳吉に命じ月江に事情を明してお粂にさとられぬ樣密かに金吾を誘ひねんごろに歸館を説き進めたが惡緣とは知りながらも二人は斷てぬ絆に結ばれてゐた。怪盜日本左衛門は裏切者のお粂に怨の刄を向けたが駈けつけた金吾は奮然斬向つた。怪盜日本左衛門の怨を買つた金吾の身は？（平館）



スター好　中形
粋な手中
着尺モスリン
本場蚊帳
平　龜田屋
電五七

喫茶部　氷部増設
七月十一日より開始致しますどうぞ、御散歩がてら是非お立寄り下さいませ。
定價表

コーヒー	10
紅茶	10
ミルク	10
ココア	20
ソーダ水	15
アイスクリーム	15
御菓子一皿	10
サンドイツチ	30
トーストパン	10

平町三丁目（平銀行横）
永野キスヤトーデンアー第二支店
喫茶部

御心配は御無用です
淋病、消渇、膀胱カタル等の諸症
偉効ある
優秀新藥トリックス
定價二圓、三圓、五圓
を御試し下さい
特約店　平町五丁目角　山野邊藥局

相馬野馬追團体募集
七月十二日午前六時平出發
定員　七十人
會費（晝食附）四圓
往復共自動車
平町二丁目（電話六四〇番）
尼子自動車部

農藝用消毒殺虫藥品
養蠶用寒暖計の御用は
平町五丁目角　山野邊藥局

ツルヤ洋品店の夏の子供服陳列會
イタヅラ着　三十錢より
ボイル服　一圓四十錢より
富士絹服　二圓より
御自由御覽になられる樣店内に陳列
特に御勉め品霜降學生服
壹號　一圓十錢
貳號　一圓
參號　九十錢
ツルヤ　平四丁目　電一四〇

藥學博士　丹波敬三先生製藥指導
醫學博士　豊島豊次郎先生動物試驗
咳止の妙藥
オピール錠
平町一丁目（電話四六二番）
特約店　大平屋藥店

氷水始めました
アイスクリーム・ミルクセーキ
其他清涼飲料物一式（電力應用）
夏期中蒲鉾を休みます
出前迅速　藤市
電話三〇五

家傳　神皇散（一週間金壹圓）
◎血ノ道◎産前、産後◎難産、流産ノくせ◎古血、惡血ノ滯◎子宮、寸白、腰、腹、冷ヘ◎男女頭痛、目眩、立眩ミ◎上逆◎腦神經不眼症ニ大効ヲ奏ス。
代理店　平研町　水野藥局